

| | | | | | | | |
|-------------------|--|-----------|---|------------|-----------|-----------|---|
| 科目ナンバー | SEM-1-002-ky | | | 科目名 | 基礎演習Ⅱ（鈴木） | | |
| 教員名 | 鈴木 鉄忠 | | | 開講年度学期 | 2020年度 後期 | 単位数 | 2 |
| 概要 | 後期の基礎ゼミでは、日本、アメリカ、新興国、EU、発展途上国における経済・政治など様々な角度から取り上げ、今後国際コースで勉強していく上での基礎知識を身につけます。またテキストを読んで要約する訓練、レジュメやパワーポイントなどで発表する訓練も行います。また合同基礎ゼミにおいては外部講師によるゲスト講演会を行ったり、「4年生に学ぶ」などのワークショップを行ったりする予定です。 | | | | | | |
| 到達目標 | 今日の国際問題を理解する上で不可欠な基礎知識を身につけること、レジュメ作りや発表、討論の仕方など、参加型の授業に加わる訓練をし、2年次以降の学習の基礎力を身につけるのが目標です。 | | | | | | |
| 「共愛12の力」との対応 | | | | | | | |
| 識見 | | 自律する力 | | コミュニケーション力 | | 問題に対応する力 | |
| 共生のための知識 | ○ | 自己を理解する力 | | 伝え合う力 | ○ | 分析し、思考する力 | ○ |
| 共生のための態度 | | 自己を抑制する力 | | 協働する力 | ○ | 構想し、実行する力 | |
| グローバル・マインド | ○ | 主体性 | | 関係を構築する力 | | 実践的スキル | ○ |
| 教授法及び課題のフィードバック方法 | 基本的に演習形式で行います。つまり、各自テキストの担当を決め、要約してレジュメを作成し、ゼミ生の前で発表・討論を行うやり方で進めます。15回の講義を通じて、受講生それぞれが2回のレジュメ発表、1回のパワーポイント発表を行います。必要に応じて、教員のミニ講座もあります。また、学園祭ではコース合同でグループ分けをし、グループでの共同作業をしながら展示会を行います。 | | | | | | |
| アクティブラーニング | ○ | サービスラーニング | ○ | 課題解決型学修 | ○ | | |
| 受講条件 前提科目 | 国際コース1年必修科目です。他コースの受講はできません。 | | | | | | |
| アセスメントポリシー及び評価方法 | 演習の活発な議論・活動への貢献度（10%）、KCGへの書き込み状況（10%）、自分の担当のレジュメづくりと発表（40%）、最終テスト（40%）で総合的に評価します。ただし、演習形式での授業なので、遅刻・欠席の多い学生には20%を超えた比重で（30%程度までの）成績評価の減点をする場合があります。また5回欠席からは受験資格なしとなり、単位取得ができません。 | | | | | | |
| 教材 | 眞 淳平 著『地図で読む「国際関係」入門』筑摩書房 2015年（ISBN9784480689436 C0231） | | | | | | |
| 参考図書 | 『世界の国1位と最下位：国際情勢の基礎を知ろう』眞 淳平著 岩波ジュニア新書 2010、『国際機関とは何だろうか』原 康著 岩波ジュニア新書2007年、『国際関係がわかる本』原 康著 岩波ジュニア新書1999年、『国際協力と平和を考える50話』森 英樹 岩波ジュニア新書 2004年。そのほか、必要な資料は必要に応じて授業時間に配布します。 | | | | | | |
| 内容・スケジュール | | | | | | | |
| 1週目 | | | | | | | |
| 授業学修内容 | 国際情勢について概略的解説と発表担当決め | | | | | | |
| 授業外学修内容 | 教科書で、自分が発表を希望する箇所を決め、予め読んでおくこと。 | | | | | 時間数 | 3 |
| 2週目 | | | | | | | |
| 授業学修内容 | テキスト1章：日本不安定な国際関係に対処を迫られる集団的自衛権、安全保障、中国、韓国、北朝鮮との関係などについて勉強します。 | | | | | | |
| 授業外学修内容 | レジュメを使った発表を行います。自分が担当となった項目について、指定されたやり方でレジュメを作成し、発表の準備をしておくこと。 | | | | | 時間数 | 3 |
| 3週目 | | | | | | | |
| 授業学修内容 | 学園祭展示会グループ作業を行います（コース合同）。学園夏期休暇中に各自が調べた内容などを持ち寄り、パネル展示のための準備や打ち合わせを行います（コース合同）。 | | | | | | |
| 授業外学修内容 | 自分達の発表内容について分担を再度確認し、パネルの内容について詳細を詰めること。 | | | | | 時間数 | 3 |
| 4週目 | | | | | | | |
| 授業学修内容 | 学園祭を直前に控え、展示会グループ作業を行います。各自の担当を確認しながら作業を進めます（コース合同）。 | | | | | | |
| 授業外学修内容 | 自分達の発表内容について分担を再度確認し、パネルの内容について詳細を詰めること。 | | | | | 時間数 | 5 |
| 5週目 | | | | | | | |

| | | | |
|---------|--|-----|---|
| 授業学修内容 | テキスト2章:アメリカリーダシップは継続するのか世界のなかでのアメリカの位置の変化、アメリカ国内の多様な問題や変化について勉強します。 | | |
| 授業外学修内容 | レジュメを使った発表を行います。自分が担当となった項目について、指定されたやり方でレジュメを作成し、発表の準備をしておくこと。 | 時間数 | 3 |
| 6週目 | | | |
| 授業学修内容 | 基礎ゼミ合同にてスポーツ大会を行います。スポーツを通してゼミ生及びゼミ間の親睦をはかりつつ、後期に向けた学習体制の確認、準備を行います。 | | |
| 授業外学修内容 | | 時間数 | |
| 7週目 | | | |
| 授業学修内容 | テキスト3章:新興国世界を揺さぶる成長力中国、インド、ブラジル、ロシアなどの最新の変化と関連して勉強します。 | | |
| 授業外学修内容 | レジュメを使った発表を行います。自分が担当となった項目について、指定されたやり方でレジュメを作成し、発表の準備をしておくこと。 | 時間数 | 3 |
| 8週目 | | | |
| 授業学修内容 | テキスト4章:EU壮大な実験が描き出すものスコットランド住民投票、ギリシャの債務危機などEUの最新の動向と体制について勉強します。 | | |
| 授業外学修内容 | レジュメを使った発表を行います。自分が担当となった項目について、指定されたやり方でレジュメを作成し、発表の準備をしておくこと。 | 時間数 | 3 |
| 9週目 | | | |
| 授業学修内容 | 外部からのゲスト講師を招き、ゲスト講演会を行います。 | | |
| 授業外学修内容 | ゲスト講演会のテーマやその内容について、図書館などで調べること。 | 時間数 | 2 |
| 10週目 | | | |
| 授業学修内容 | テキスト5章・6章:発展途上国の問題やグローバリゼーションその実態を探る自由貿易、感染症の拡大など、グローバリゼーションに伴う問題の実態について勉強します。 | | |
| 授業外学修内容 | レジュメを使った発表を行います。自分が担当となった項目について、指定されたやり方でレジュメを作成し、発表の準備をしておくこと。 | 時間数 | 3 |
| 11週目 | | | |
| 授業学修内容 | 交流クリスマス・パーティー(コース合同) | | |
| 授業外学修内容 | 企画・実行の代表となった学生が集まり、内容についてのアイデアを作り、準備をしてください。 | 時間数 | 2 |
| 12週目 | | | |
| 授業学修内容 | テキスト7章:新たな国際主体国際機関と非政府組織国連をはじめ、様々な国際機関とNGOの役割について勉強します。 | | |
| 授業外学修内容 | パワーポイントを使った発表をします。自分が担当となった項目について、指定されたやり方でレジュメとパワーポイント・ファイルを作成し、発表の準備をしておくこと。 | 時間数 | 3 |
| 13週目 | | | |
| 授業学修内容 | テキスト8章:二一世紀の難題新たな戦争形態、そして地球温暖化イスラム国(IS)の衝撃、イラク戦争、アラブの春などを取り上げながら、新たな戦争について勉強します。また、気候の変化による食糧問題など21世紀の難題を取り上げます。 | | |
| 授業外学修内容 | パワーポイントを使った発表をします。自分が担当となった項目について、指定されたやり方でレジュメとパワーポイント・ファイルを作成し、発表の準備をしておくこと。 | 時間数 | 3 |
| 14週目 | | | |
| 授業学修内容 | テキスト終章:日本の課題を考える超高齢社会日本は、周辺国とどのように関わり今後どうのようにしていくべきかについて勉強します。 | | |
| 授業外学修内容 | パワーポイントを使った発表をします。自分が担当となった項目について、指定されたやり方でレジュメとパワーポイント・ファイルを作成し、発表の準備をしておくこと。 | 時間数 | 3 |
| 15週目 | | | |
| 授業学修内容 | まとめと討論半年間勉強したことを復習し、いくつかのテーマで総合討論を行います。 | | |
| 授業外学修内容 | 教科書全体の内容についての理解度を確認するために、問題プリントを配布 | 時間数 | 5 |

| | | | |
|---------------|-----------------------|----|--|
| 容 | します。すべての課題を予め解いておくこと。 | | |
| 上記の授業外学修時間の合計 | | 48 | |
| その他に必要な自習時間 | | 42 | |

| | | | | | |
|----------------|--|-------------------|---------------------------|---------|---|
| Number | SEM-1-002-ky | Subject | Freshman Basic Seminar II | | |
| Name | 鈴木 鉄忠 (Suzuki Tetsutada) | Year and Semester | Second semester for 2020 | Credits | 2 |
| Course outline | In the second semester, we will survey international situation from various perspectives such as population, geography, economy, politics, and society, gaining the basic knowledge necessary to continue studying in the International Studies Course. We will also practice reading and giving a presentation on a textbook in turn by PowerPoint. | | | | |